

# 東京五輪入場行進シーンに拍手

御坊小学校3年60人が12日、校区めぐりの一環で御

坊寺内町会館を訪れ、和田勇顕彰会が日高高校JRC(青少年赤十字)部の協力で制作した紙芝居「わだいさむものがたり」を楽しんだ。各種展示品の説明も聞いた。

片山隆館長が和田勇が名田で過ごした幼少期から、アメリカでの青果店経営、戦後全米選手権大会に出場する日本水泳選手団を支援し、私費を投じて東京オリンピック誘致に尽力し、開催を実現するまでを描いた紙芝居を読み聞かせた。

国立競技場での開会式には和田勇、正子夫妻も出席し、日本選手団の入場に拍手を送り、喜んだ。これを再現する紙芝居の入場行進シーンでは、子どもたちも大きな拍手を送った。紙芝居は、幼稚園・保育園児から小学校低学年向け。市内12の幼稚園・保育園に寄贈したほか、寺内町

会館、市立図書館などに置いている。絵は16枚あり、日高高校JRC部、文は本紙記者・藤本亜矢子が手掛けた。

## 御坊小3年が和田勇紙芝居楽しむ



和田勇紙芝居を楽しむ子どもたち